

少年の主張発表  
南那須地区大会

9月10日、馬頭総合福祉センターで第32回栃木県少年の主張発表南那須地区大会が開催され、管内の各中学校の代表者6名が、日頃の生活を自省したり、将来への夢や希望などを9名の審査員を前に1人5分の持ち時間で発表しました。

最優秀賞は、ハーフの立場から、国際化が進む社会で偏見を無くし、互いを尊重し合う大切さを訴えた樋口芹那さん（烏山中3年）が受賞し、県大会出場を決めました。当町からは薄井麻鈴さん（馬頭中3年）と瀬谷勇作さん（小川中3年）が出場し、ともに優秀賞を受賞しました。



身体障害者スポーツ大会

町身体障害者福祉会では、スポーツを通して体力の維持増進を図るとともに、会員相互の障害を理解し、助け合い、積極的な社会参加を促進し、自立性の高い生活形成に寄与することを目的に第4回那珂川町身体障害者スポーツ大会を9月11日に馬頭総合体育館で開催し、会員やその家族など35名が参加、4チームに分かれて、輪投げやボウリングなど4種目で競い合いました。

参加者の皆さんは、5m離れた的を目指して、ボールや輪、フライングディスクを投げ、競技の結果に一喜一憂しながら、会員相互の親睦を図っていました。

馬頭高水産科で和舟実習

9月15日、富谷橋下流の那珂川で馬頭高校水産科2年生17名が、総合実習の一環として、和舟の操縦法の体験をしました。

長さ4間1尺（7.5m）、幅2尺（0.6m）の和舟の触先に立ち、バランスを取りながら、舟竿一本で操船していた生徒の皆さんは、不安定な足場となかなか思っように進まない舟に悪戦苦闘しながらも、頑張って操縦していました。

また、今年8月に来日した留学生のサムさんも挑戦、初めての体験に「難シイケド、楽シイデス」と感想を話し、日本の伝統的な和舟の操縦方法を習得していました。



馬頭商工会・小川商工会  
祝 合併契約書調印式



商工会合併調印式

9月17日、馬頭商工会と小川商工会の合併契約調印式が馬頭商工会館で行われました。

調印式には、県、町、商工会関係者など約50人が出席し、新商工会の名称を「那珂川町商工会」とし、来年4月に合併することなど基本的な事項について契約書に調印しました。

両商工会は、効率的な組織運営と機能強化を図るため、合併を旨とし平成19年に合併促進協議会設置し、合併に向けて協議を重ね、今回の調印式となりました。

小川中  
吹奏楽部コンサート

小川中学校吹奏楽部による第3回スマイルコンサートが9月20日、あじさいホールで開催されました。

「笑点のテーマ」の演奏によって和やかに開幕したコンサートは、途中、合唱部との合同で校歌やJポップの「手紙」を合唱、第2部では卒業生なども参加し、金管5重奏や各楽器のアンサンブルを演奏しました。

第3部では、地区音楽祭出場曲の「じんじん、沖縄わらべ歌より」などを演奏、最後はMXMやデイスコ調の曲をメドレーで演奏、合唱部の皆さんが乗り乗りの振り付けを披露して、会場を大いに盛り上げてフィナーレとなりました。



秋の交通安全  
県民総ぐるみ運動

9月24日から30日にかけて、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が町内各地で展開されました。

24日には旭町交差点で、25日には道の駅「ばとう」で町交通安全協会役員や女性部会員、安全運転管理者協議会員などが街頭指導に立ち、ドライバーの皆さんに交通安全を呼びかけていきました。



第2回ほらーれ祭り

小川総合福祉センターの福祉作業施設を運営するNPO法人ほらーれでは、9月26日に同施設で第2回ほらーれ祭りを開催しました。

開会式で山口守理事長が「おかげ様で2周年を迎えることができました。心を込めて持て成しますので、よろしくお願いします」とあいさつ。

屋外では協賛団体や関係者による焼そばやパンの販売やフリーマーケットが開かれ、屋内で行われた「楽しい演奏」のコーナーでは、和泉隆夫さんが、演奏の合間に手作りの竹笛などを使って、人間の音に対する追及の歴史を面白おかしく話してくれました。このほか腹話術やビンゴゲームなどで、参加者の皆さんは、楽しいひと時を過ごしました。



第4回南那須地区音楽祭  
当町からは3小学校が入選

10月1日、那珂川町総合体育館において、第4回南那須地区音楽祭が開催され、南那須地区内の小中学校の児童・生徒たちが、日頃の練習の成果を披露しました。

当町から出場した各校の成績は次のとおりです。また、入選（優秀賞）した学校は、10月22日・23日に開催される県音楽祭に出場します。

入選（優秀賞）

- 谷川小学校（合奏）
- 馬頭小学校（合唱）
- 小川小学校（合唱）

